

麗しい水環境の創造へ

かいほう

2014
NEW YEAR

130

新年号

一般財団法人 福岡県浄化槽協会





表紙の写真について (宇美町産業振興課提供)

表紙の写真は、糟屋郡宇美町の三郡山登山道の途中にある河原谷の大つらら
(通称：難所ヶ滝)です。

昭和の森公園から、約1時間半かけて三郡山の登山道を登ると、高さ20メートル以上の大ツララが表れます。

このツララは毎年1月から2月にかけて雪解け水が氷結してできるもので、自然の驚異と自然の力を感じさせてくれる芸術とも言われています。

INDEX

理事長あいさつ	1
知事年頭あいさつ	2
事業報告	
普及啓発	
「浄化槽シンポジウム福岡2013」を開催	3
第2回じょうかそうポスターコンクール最優秀賞(福岡県知事賞)表彰	5
浄化槽啓発ポスターを作成しました	5
浄化槽普及啓発資料	6
浄化槽普及啓発活動の実施	8
福岡県国際環境人材育成研修に講師派遣	8
検査事業	
浄化槽の法定検査結果(上半期)	9
クロスチェック委員会の報告	10
講習会等	
全国浄化槽技術研究会に参加	11
九州地区浄化槽検査員研修会に参加	12
指定採水員指定講習会(更新)の開催	12
指定採水員指定講習会(新規)開催のお知らせ	12
協会行事録(平成25年10月~12月)	13
表彰	
「浄化槽の日」における表彰受賞者	14
計量関係功労者表彰	14
情報	
試験・講習	
平成25年度浄化槽関係試験・講習日程表	15
平成26年度浄化槽関係試験・講習日程表(予定)	15
その他	
浄化槽法第11条検査の受検率向上に向けた取組について	16
行政職員による法定検査の立会	18
浄化槽設置整備事業に係る市町村担当者説明会に参加	18
清掃活動の実施	19
浄化槽Q&A	19
法定検査の指摘事例	20
水質検査項目の紹介(No.8)全りん	21
ふるさと百景	22
編集後記	22



理事長あいさつ

一般財団法人福岡県浄化槽協会
理事長 三浦 正吏



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、酷暑の夏に続いた秋が短かったこともあり、秋の訪れを告げるピンク色のコスモスの花に鮮やかな紅葉が散る、晩秋の光景に出会いました。

今冬は福岡でも真っ白な雪が舞う日が例年より多いと予想されていますが、皆様には、お変わりなくご精励のこととお喜び申し上げます。

昨年5月31日に、平成25年度から29年度までの5カ年間の廃棄物処理施設整備計画が閣議決定されました。この計画では、浄化槽人口普及率を平成24年度の9%から29年には12%に増加すべきとされています。

この数字が夢ではなく、現実の数字となるよう、そして福岡の地に1基でも多くの浄化槽が設置されるよう「浄化槽の普及啓発事業」や「浄化槽の法定検査事業」を中核事業として、これまで以上に公益的な事業を確実に推進して参ります。

昨年の協会事業を振り返りますと、公益目的支出計画に基づく「浄化槽の普及啓発事業」では、一昨年に続き、福岡県及び福岡県浄化槽推進協議会との共催（全浄連九州地区協議会及び福岡県環境整備事業協同組合連合会後援）を得て、市町村議会、行政職員、浄化槽関係者の方々を対象としたシンポジウム「次世代に負担を残さない効率的な污水处理整備へ」を昨年11月に福岡市内で開催し、約230名の参加を頂きました。

このシンポジウムでは、従来の集合処理（公共下水道・農集排）での整備計画の一部を見直し、浄化槽を積極的に活用することで財政に余裕ができた福島県三春町の事例紹介を通じ、市町村の公営企業の経営という観点から少子高齢化社会の污水处理として「浄化槽」の積極的活用を提案して頂きました。

また、これまでの浄化槽設置基数把握事業で得られた情報を元に、京築地区を皮切りに筑紫地区と宗像・遠賀地区において県保健福祉環境事務所及び関係事業者の方々と連携して啓発を行ってきました。

「浄化槽の普及啓発事業」では、この他に、無管理浄化槽の管理者に対して維持管理の必要性を啓発すると共に、法定検査の未受検者に対する受検啓発を行おうとしています。今後は他の地区でも同様の事業を進めていく計画でございますので、関係する皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

協会では今後も継続して、浄化槽の普及啓発のため「浄化槽が持っている力」、「今の時代が浄化槽に期待するもの」を発信して参りたいと考えています。

役職員一同、引き続き事業の推進を通じて協会理念である「美しい水環境の保全へ」の実現を目指して参りますので、皆様からの、なお一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。



知事年頭あいさつ

福岡県知事 小川 洋



新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人福岡県浄化槽協会会員の皆さまには、日ごろから浄化槽の適正な維持管理の確保やその普及啓発を通して、県民の健康で快適な生活環境の確保に格別の御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

去年は、安倍内閣の積極的な経済政策、いわゆる「アベノミクス」の効果により、株価や民需、輸出が回復するなど、景気回復に向けた明るい動きが出てきた年でした。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定という、復興と再生を目指しているわが国にとって大変喜ばしい出来事もありました。

今年は、私たち自身、こうした明るい動きを確固としたものにしていき、一人一人、企業各社、各地域が元気になっていく年にしたいと考えております。

環境を軸とした、産業の国際競争力の強化を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」については、指定区域の拡大や地域独自の支援策の追加により、設備投資や新規雇用が着実に進み、国から最も高い評価を受けています。引き続き、産学官が一体となって一つでも多くの事業、プロジェクトを具体化し、その効果を県の内外に広げてまいります。

また、一昨年の豪雨災害からの一日も早い復興を目指すとともに、事前防災・減災対策や自主防災組織の育成を進め、地域防災力を強化していきます。

県では、快適な生活環境をつくるため、「福岡県汚水処理構想」に基づき、下水道や浄化槽などの汚水処理施設の計画的かつ着実な整備を推進しています。

浄化槽は、短期間かつ省スペースでの設置が可能であり、施設が個々に分散しているため水環境の変化が小さいなどのほか、災害に強いという特長を持っており、その普及が期待されています。

また、浄化槽の処理機能が十分に発揮されるためには、適正な維持管理が不可欠であり、皆さまの役割は極めて重要です。今後とも、関係者の皆さまの一層の御尽力をお願いします。

今年は午年。天馬が空を翔け巡るがごとく大いに飛躍し前進する年です。

県民の皆さまにとりまして、夢や希望、元気に満ちあふれる一年となりますよう、心からお祈りいたします。

「浄化槽シンポジウム福岡2013」を開催

～次世代に負担を残さない効率的な污水处理整備へ～

11月1日(金)に福岡県と福岡県浄化槽推進協議会の共催及び全浄連九州地区協議会と福岡県環境整備事業協同組合連合会の後援のもと、福岡市の博多サンヒルズホテルで「浄化槽シンポジウム福岡2013」を開催しました。

市町村議員の他、県・市町村職員、会員等合わせて約230名の参加を頂きました。

本シンポジウムは、県民の環境意識の向上、少子高齢化、人口減少等の社会状況の変化の中で、それぞれの市町村にふさわしい生活排水処理計画を構築するための一助とすべく、議会、行政及び浄化槽関係者等を対象に開催したものです。

今回のシンポジウムは、今後の生活排水処理計画構築の参考となる内容であったことから、市町村長や議員、行政関係者の参加が多く見られ、大変好評でした。

更なる浄化槽の普及啓発に向け、来年度もシンポジウムを開催する予定です。

講演①

「浄化槽事業の推進について」

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課

浄化槽推進室 室長補佐 豊村 紳一郎 氏

講演②

「市町村の経営と生活排水処理計画

～少子高齢化社会の污水处理について～」

北海道大学大学院公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作 氏



福岡県環境部長あいさつ



福智町長あいさつ



講演① 環境省 豊村氏



会場のように



講演② 北海道大学大学院 遠藤氏

浄化槽シンポジウム福岡2013で講演して頂きました遠藤誠作氏のコラムが「浄化槽読本」に掲載されておりましたので紹介します。

コラム

【福島県三春町での行政体験と浄化槽を語る

～元福島県三春町企業局長 遠藤誠作氏の思い出と提言～】

三春町は、平成4(1992)年～5(1993)年にかけて、公共下水道と農業集落排水施設の整備に着手した。当時の建設コストは1戸当たり500～600万円もかかる計画であったため、水道事業の経験からすると高すぎて見えた。この時に下水道・農業集落排水事業の採算性に疑問を持っていたので、上下水道一元化の際、他の整備手法を検討したのが浄化槽と出会ったきっかけである。

コンサルタントが作成した町の下水道事業基本計画を検証してみると、当時、8,000人程度の居住人口が将来は13,000人に増加するので経営収支は合うという計画を立てていた。終末処理場を最下流に配置し、流域が異なる地域はポンプアップして幹線に入れるよう計画され、DIDもない町でも採算がとれると言う。また、終末処理場は職員を常駐させるよう管理棟に広い事務室を確保していたので、事業の採算性に疑問が残った。

同じインフラでも、「道路」は100年経ってもその役割はそれほど変化しないと思う。一方、下水道は全体事業費の6～7割を管渠整備にかけると、技術革新によって究極の「汚泥処理技術(汚泥消滅)」が開発されたりすると、整備した管路が無駄になってしまう。すなわち、1戸当たり500万もの建設コストをかけても100年間使用すれば回収できるという論理は、技術革新によって覆される可能性があるし、その前に人口が減少して使用者がいなくなれば、管渠は「無用の長物」になってしまう。

そこで、整備費が格段に安くて済む合併処理浄化槽を下水道施設として公設で整備し、きちんと管理すれば下水道と同様の効果が得られるのではないかと考えた。

平成10(1998)年、町の行財政改革で、下水道事業改革と公営企業の管理経費削減のため、水道と下水道事業を統合し上下水道課に組織替えをした。その際に農業集落排水施設や浄化槽も所管したので、各事業の運営から改善策について沢山のヒントを得た。たとえば、農業集落排水施設の管理は1ヵ月に3～4回程度の巡回点検管理であった。これに対し公共下水道の終末処理場は常駐管理方式で計画されていたので、これを改め上水道・簡易水道・公共下水道及び農業集落排水施設17施設を一括して、複数年契約により第三者委託をした。その結果、24時間常駐の浄水場を基地にして他は巡回管理にすることにより、従来の2分の1近いコスト削減を実現した。

公共下水道は平成12(2000)年に供用開始したが、下水道3事業を一つの会計に統合し、地方公営企業法を全部適用して公営企業会計で管理することとした。平成13(2001)年には宅造事業も統合し組織名称を「企業局」に改め、公営企業管理者を置くようにした。それにより会計管理はもちろん、公営企業が決裁権まで持って事業を行えるようになった。

また、その機会に、上下水道・浄化槽の技術職員を集約して、計画から設計・施工管理まで一元化する体制を整備した。全事業へ地方公営企業法適用、全施設の運転管理の一括委託と職員の大幅削減、下水道3事業の料金統一などの改革は、日本経済新聞1面に取り上げられ、全国各地から年間30～50団体もの視察者があり、当時、日本の中小上下水道をリードする先進事業者と言われた。

今後の汚水処理技術の革新を考えれば、汚水処理施設は家の耐用年数に合った設備で十分である。例えば、30年後に新しく家を建て替える場合、既設の下水道管に制約されないで自由に設計ができるし、その時点で最新の設備を利用することができる。

特に、農村部は高齢化が急速に進んでおり、人口が減る一方、地域では人の繋がりが希薄になっている。そのような中、浄化槽の保守点検、清掃、法定検査等の技術員が日常管理業務で定期的に地域を回るのも、一人暮らしや高齢者世帯に声をかけることができる。また、市町村設置型の管理を受託する維持管理業者は公の業務を担うことになるので、地域に安定した雇用も創出される。

さらに高度な技術を身につけた技術者を計画的に育成し、情報機器を利用して最適管理システムを構築すれば、浄化槽の設置から保守点検、清掃業務は、地域に根付いた安定的な産業として成り立つ可能性がある。

例えば、GIS(Geographic Information System、地理情報システム)を利用して個々の浄化槽の設置情報、維持管理・修繕履歴や水質データ等、浄化槽に関する全ての情報をデータベース化すれば、設置自治体や維持管理業者がペーパーレスで管理できる。さらに、保守点検、清掃、検査の3業種が連携し、浄化槽の管理データを端末機器で確認しながら管理できるようになれば、下水道並みの管理ができる。

浄化槽の機能そのものは、現状でも十分高いレベルで達している。問題は維持管理と自治体の推進体制である。市町村の職員は3～4年間で異動するため、そのわずかな期間に担当者が浄化槽のことを勉強し理解して事業を採択してくれることを期待するのは難しい。

そうであるならば、市町村側が採択したくなる商品を業界が用意すべきではないか。すなわち、行政が労力とコストをかけずに浄化槽を設置でき、技術的な知識を持った専門機関が適切に管理する仕組みを構築すれば、浄化槽は採用しやすくなる。例えば、PFI方式で設置して浄化槽管理まで行い、使用状況など浄化槽に係るデータはペーパーレスで一元管理運営する仕組みがあれば、民間主体で推進できる。

このようなことは市町村がバラバラでは非効率なので、情報処理技術を取り入れ全国規模で一元化すべきと思う。そのため、浄化槽業界で協調して全国統一の保守点検システムを整備し、それを担う業者や技術者を育成できれば完璧である。浄化槽は個人の設備ではない、公共浄化槽である。

出典：浄化槽読本 ～変化する時代の生活排水処理の切り札～
編集・発行：公益信託柴山大五郎記念合併処理浄化槽研究基金・技術ワーキンググループ

第2回 じょうかそうポスターコンクール 最優秀賞(福岡県知事賞)表彰

今年度実施しました第2回じょうかそうポスターコンクールにおいて、みごと最優秀賞(福岡県知事賞)に輝きました行橋市立延永小学校4年生の山下比奈さん^{やましたひな}に、表彰状を手渡しました。

最優秀賞(福岡県知事賞)受賞、おめでとうございます。



浄化槽啓発ポスターを作成しました

福岡県の後援をいただき「平成24年度の浄化槽ポスターコンクール」の入賞作品を活用して「浄化槽啓発ポスター」を作成しました。

次世代の子供たちへ美しい水環境を残すため、家庭から出る汚れた水をキレイにする浄化槽と水辺の環境をテーマにポスターを募集したもので、今後の浄化槽の普及啓発に活用させていただきます。

学校別応募者数

糸田市立糸田小学校	41名
飯塚市立楽市小学校	2名
宇美町立宇美小学校	1名
大川市立大川小学校	4名
小郡市立のぞみが丘小学校	2名
春日市立春日西小学校	1名
川崎市立川崎東小学校	1名
行橋市立延永小学校	78名
合 計	130名

*たくさんのご応募ありがとうございました。



当協会では、浄化槽の普及啓発に関する資料、環境フェア等で使用する各種機材を取り揃えておりますので、是非ご活用下さい。詳しくは、協会事務局の情報管理・企画課(Tel092-947-1800)までご連絡下さい。

1 普及啓発資料



「すっこくフツの町だけどキレイな川がジマンです」

A4版パンフレット 4ページ

女子高生が「短大の推薦」と「水洗トイレ」を町長に直訴するなどユニークな内容となっています。また、浄化槽設置に係る国の財政支援なども掲載しています。

※ 環境省及び漫画家の赤星たみ子氏から許可を得て転載しています。

「わが町の環境支える浄化槽」



A3版パンフレット

水の汚れる原因や浄化槽のしくみを分かりやすく解説しています。浄化槽設置者・未設置者問わない内容となっています。

「浄化槽は生き物です」



A4版パンフレット

浄化槽の正しい使い方、保守点検業者及び清掃業者との委託契約を促す内容となっています。

「「じょうかそう」のおはなし」



A4版パンフレット
8ページ
小学校低学年用

「水が生き返るために」



A4版パンフレット
8ページ
小学校高学年用

水環境を守る意識の向上と併せて浄化槽が水質保全に果たす役割について、小学生にも分かりやすく解説した内容となっています。
※(社)全国浄化槽団体連合会の「平成20年度水環境保全助成事業」にて作成しています。

従来から配付しているエコグッズ

「エコバック」



A4版収納サイズ
(ワイド)

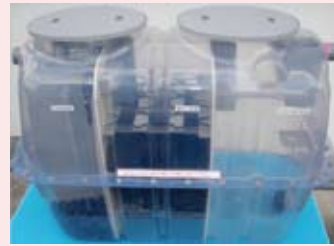
カラー

ピンク、ライムグリーン、ネイビー、ブルー、イエロー、オレンジ、レッド、ブラック

環境フェア等のイベントにおいて、浄化槽クイズに参加した方の中から抽選で差し上げています。

2 環境フェア等で使用する各種機材等

「浄化槽ミニ模型」



サイズ：780mm×625mm×472mm

環境フェア等で展示いただけます。
水を入れてブロワを使用することで水の流れることが出来ます。

宇宙誕生メダカ



1994 年に向井千秋さんとスペースシャトルコロンビア号で宇宙旅行したメダカの子孫「23 世」です。
無重力や宇宙線が繁殖に影響しないかどうかの実験で、スペースシャトル内で産卵ふ化したメダカの子孫です。

顕微鏡



写真の顕微鏡は「微分干渉顕微鏡」といって、生きた微生物を鮮明に観察することができる優れた顕微鏡です。
テレビ画面と同様のモニターも付いており、顕微鏡を覗かなくてもモニターで微生物の観察ができるものです。

パソコンによる浄化槽クイズ



小学生向けに作成したパンフレットやカレンダーに登場する当協会のオリジナルキャラクターを使った浄化槽クイズです。

その他、以下のような事業も実施しておりますので、各自治体、事業所、学校、子供会等の各団体、グループ等では是非ご活用下さい。

平日、休日を問わず、また費用負担もありませんので、お気軽にお問い合わせ下さい。

○ 市町村における生活排水処理計画等の支援

各市町村の実情に応じた各種生活排水処理施設の整備を効率的に推進するため、生活排水処理基本計画、浄化槽市町村整備推進事業導入等の策定をお手伝いします。

○ 出前講座

浄化槽の普及啓発を目的に職員が出向き、浄化槽に関するお話を、専門知識を活かしてお届けするものです。
講座内容につきましては、ご相談頂ければ対応します。

○ 環境フェア等への出展

各自治体が開催する環境フェア、産業まつり等へ出向き、浄化槽を紹介するものです。
展示物として、宇宙誕生メダカ、ヒナモロコ、顕微鏡による微生物観察、パソコンによる浄化槽クイズ等を取り揃えております。

事業報告/普及啓発

浄化槽普及啓発活動の実施

以下の日程で小学校の出前講座や県内各地で行われた環境フェアなどのイベントに参加しました。

出前講座では、紙の溶けやすさの実験やCODバックテストでの水の汚れ具合の測定、顕微鏡を使った微生物の観察、浄化槽模型の仕組みの説明や浄化槽クイズなどを行いました。

9月22日	柳川市リサイクルマーケット
10月 9日	小竹町立小竹北小学校
10月20日	環境フェアin八女
11月 3日	嘉麻ふれあい祭り
11月 4日	環境フェアinちくご



小竹北小学校出前講座



環境フェアin八女

事業報告/普及啓発

福岡県国際環境人材育成研修に講師派遣

福岡県では、アジア地域における循環型社会構築に向けた環境課題解決に貢献すると共に事業展開の礎となるネットワークを構築し、環境ビジネスのきっかけとなることを目的として、平成18年からアジア地域・諸国からの今後の環境施策を担う中核行政官を招聘し、環境分野における人材育成研修を実施しています。

11月28日(木)、9月の「中国環境コース」に続き、「アセアン・インド環境管理コース」に講師を派遣し、浄化槽の現地視察を行いました。

行程	14:00～16:00	フジクリーン工業(株)飯塚工場見学
	16:00～17:00	大型・家庭用の浄化槽視察(飯塚市)



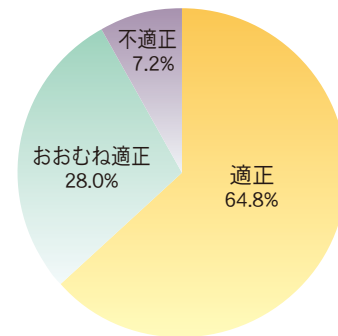
※今回の研修では、(有)ほなみ環境衛生工業様にご協力頂き実施しました。

事業報告/検査事業 浄化槽の法定検査結果(上半期分)

平成25年度上半期(4月から9月)の法定検査実施状況は次のとおりです。

7 条 検 査 実 績

保健福祉環境 事務所等	検査基数	判 定		
		適 正	おおむね適正	不適正
北筑後	107	77	22	8
嘉穂・鞍手	553	361	155	37
宗 像	91	51	26	14
筑 紫	64	41	16	7
南筑後	722	491	196	35
京 築	287	151	104	32
福岡市	1	1		
久留米市	203	142	48	13
合 計	2,028	1,315	567	146
割 合	—	64.8%	28.0%	7.2%



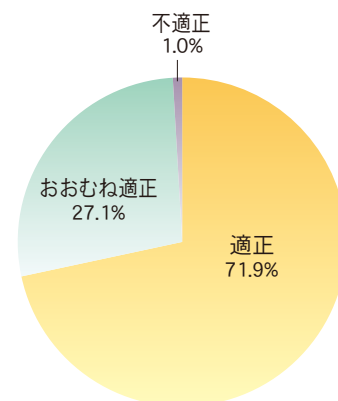
問題のあったチェック項目の上位5項目

チェック項目	指摘数	指摘の主な原因
保守点検回数	107	保守点検を実施していない
消毒剤の有無	105	消毒剤がなく、消毒されていない
生物膜の状況	37	生物膜の活動低下等により処理機能が低下している
沈殿槽のスカムの生成状況	4	沈殿槽又は処理水槽にスカムが生成している
漏水の状況	3	流入管からの漏水

注1：指摘数は重複有り 注2：類以した指摘は除く

11 条 検 査 実 績

保健福祉環境 事務所等	検査基数	判 定		
		適 正	おおむね適正	不適正
北筑後	4,079	2,933	1,115	31
嘉穂・鞍手	12,994	9,347	3,482	165
宗 像	3,893	2,511	1,298	84
筑 紫	3,004	2,203	762	39
南筑後	15,593	11,335	4,136	122
京 築	5,544	3,825	1,654	65
福岡市	72	53	18	1
久留米市	5,456	4,206	1,236	14
合 計	50,635	36,413	13,701	521
割 合	—	71.9%	27.1%	1.0%



問題のあったチェック項目の上位5項目

チェック項目	指摘数	指摘の主な原因
送風機の稼働状況	107	送風機が故障しているなど
消毒剤の有無	105	消毒剤がなく、消毒されていない
生物膜の状況	97	生物膜の活動低下等により処理機能が低下している
清掃の回数	56	法令で定められた清掃回数より少ない
漏水の状況	56	浄化槽又は流入管渠からの漏水

注1：指摘数は重複有り 注2：類以した指摘は除く

クロスチェック委員会の報告

平成25年10月22日(火)に平成25年度第2回クロスチェック委員会を開催しました。委員会においては、平成25年4月から7月までの11条検査の実施状況、スクリーニング検査及びフォロー検査の実施状況、現地調査の実施状況等についての審査が行われました。審査にあたっての報告内容は、次のとおりです。

平成25年4月から7月まで

1 検査センター別の水質検査基数、スクリーニング検査基数、フォロー検査基数、現地調査基数は、以下のとおりです。

センター名	項 目	4月	5月	6月	7月	合計
福岡	水質検査基数	840	915	829	860	3,444
	スクリーニング検査基数 ※1	49	46	20	23	138
	フォロー検査基数 ※2	0	0	1	2	3
	現地調査基数 ※3	2	0	1	1	4
筑後	水質検査基数	2,764	2,803	2,931	3,119	11,617
	スクリーニング検査基数	276	229	181	164	850
	フォロー検査基数	13	10	4	12	39
	現地調査基数	2	4	0	0	6
筑豊	水質検査基数	2,081	2,334	2,276	2,412	9,103
	スクリーニング検査基数	235	217	164	116	732
	フォロー検査基数	6	31	16	11	64
	現地調査基数	0	0	1	1	2
合 計	水質検査基数	5,685	6,052	6,036	6,391	24,164
	スクリーニング検査基数	560	492	365	303	1,720
	フォロー検査基数	19	41	21	25	106
	現地調査基数	4	4	2	2	12

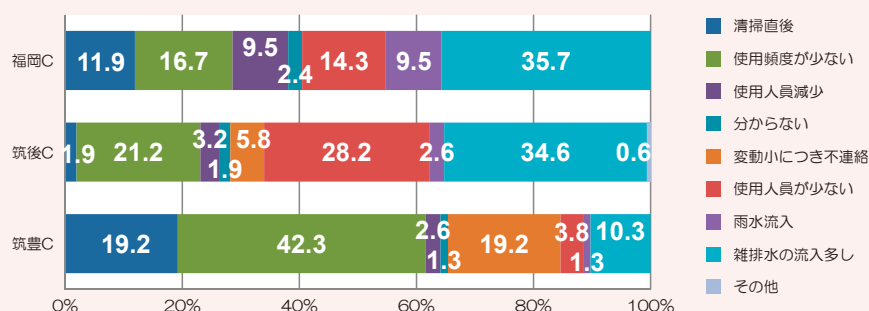
- ※1 スクリーニング検査とは、BODが一定基準を超過した場合などに行う検査です。
※2 フォロー検査とは、前年度外観検査で「不適正」と判定された浄化槽について、「不適正」な箇所の改善状況の確認を行う検査です。
※3 現地調査とは、塩化物イオン濃度が一定基準を下回った場合などに行う検査です。



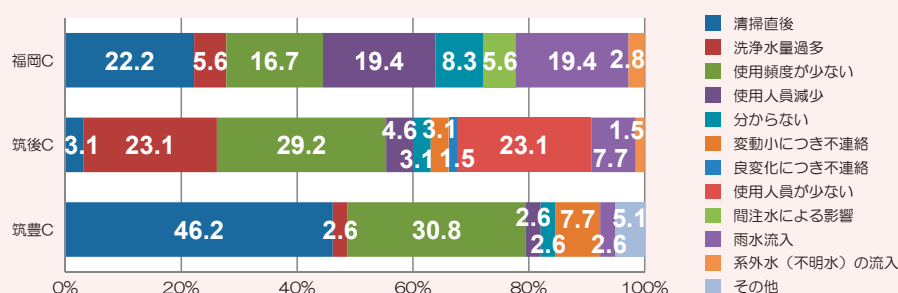
クロスチェック委員会のようす

2 採水された試料の塩化物イオン濃度の結果から、一定基準以下のものについては、指定採水員に対し、その要因について聞き取り調査を行っています。今回の調査結果は、以下のとおりです。(福岡C:78件、筑後C:221件、筑豊C:117件)

浄化槽



みなし浄化槽



事業報告/講習会等

全国浄化槽技術研究集会に参加

平成25年10月9～10日の2日間、宮崎市において、(公財)日本環境整備教育センター主催の第27回全国浄化槽技術研究集会が開催されました。

毎年、浄化槽の最新技術に関する研究発表や事例報告が盛大なされており、今年も当協会の職員が発表を行いました。

当協会の発表は、平成22年度から平成24年度までに実施された福岡県浄化槽法施行細則第9条に基づく水質検査データを活用し、浄化槽の機能を評価する内容でした。

演 題：「浄化槽放流水の水質検査結果からみた
浄化槽の機能評価に関する一考察」

発表者：筑豊検査センター
水質検査課副課長 舟津裕吏



事業報告/講習会等

九州地区浄化槽検査員研修会に参加

11月8日(金)に、九州地区浄化槽指定検査機関協議会主催による「九州地区浄化槽検査員研修会」が熊本市のKKRホテル熊本で開催され、当協会からは13名、総勢106名の参加がありました。

研修会では、各県の法定検査に関する取り組み事例等の研究発表が行われ、当協会からは「法定検査における精度管理について」と題して、浄化槽検査員の精度管理の取り組みを紹介しました。

なお、昨年同様に四国地区の指定検査機関からの参加もあり、活発な意見交換が行われました。

【カリキュラム】

No.	研修内容等	発表団体等
1	一括手続きの終結と同時契約の課題について	(公財) 大分県環境管理協会
2	権限移譲市町村との連携について ～いちき串木野市における事例報告～	(公財) 鹿児島県環境検査センター
3	「浄化槽対策会議」による不適正浄化槽の改善への取り組みについて	(一財) 佐賀県環境科学検査協会
4	出前講座用資料作成と実施及び結果	(公財) 宮崎県環境科学協会
5	検査結果の精度向上のための検査結果チェック体制およびシステムについて	(公財) 鹿児島県環境検査センター
6	法定検査における精度管理について	(一財) 福岡県浄化槽協会
7	循環水量に関する一考察	(公社) 熊本県浄化槽協会
8	【特別講演】受検率向上に向けた現場での心構え・対応・接遇等について	(株) ベストビジネス



会場のようす



(一財)福岡県浄化槽協会岩元技師の発表

事業報告/講習会等

指定採水員指定講習会(更新)の開催

今年度末で指定採水員の指定期限が切れる方を対象に、平成25年11月15日(金)クリエイト篠栗(篠栗町)で、指定採水員指定講習会(更新)を開催しました。

この講習会で、30名の方が指定採水員の更新を行いました。更新された方々は、「福岡方式」の信頼性確保のため、今後も指定採水員としての自覚と責任を持って、検査試料の採水をされるようお願いいたします。



講習会のようす

(講師:福岡県環境部廃棄物対策課 技術主査 今村 文香氏)

事業報告/講習会等

指定採水員指定講習会(新規)開催のお知らせ

平成26年2月7日(金)に、新たに指定採水員の指定を受ける方を対象に、クリエイト篠栗(篠栗町)で、指定採水員指定講習会(新規)を開催します。なお、申込みは1月31日(金)までとなっています。

協会行事録(平成25年10月～12月)

日 付	行 事 内 容	開 催 地	会 場
10月 1日	第 27 回全国浄化槽大会	東京都	東京會館
10月 9日	第 27 回全国浄化槽技術研究集会 ～ 10 日	宮崎市	宮崎観光ホテル
〃	小竹北小学校出前講座	小竹町	小竹北小学校
10月18日	第 5 回業務管理システム構築 PJ 会議	篠栗町	協会役員室
〃	福環協 業務委員会研修会	福岡市博多区	中小企業振興センター
10月20日	環境フェア in 八女	八女市	おりなす八女
10月22日	第 2 回クロスチェック委員会	篠栗町	協会役員室
10月24日	第 1 回水質 WG 会議	久留米市	筑後検査センター
10月27日	浄化槽管理士国家試験	福岡市博多区	南近代ビル
10月30日	第 4 回適正点検調査報告書審査会	篠栗町	協会役員室
10月31日	第 4 回 スクリーニング検査詳細調査検討委員会	久留米市	筑後検査センター
11月 1日	浄化槽シンポジウム福岡 2013	福岡市博多区	博多サンヒルズホテル
11月 3日	嘉麻市ふれあい祭り	嘉麻市	稲築スポーツプラザ
11月 4日	環境フェスタ in ちくご	筑後市	リサイクルプラザ
11月 8日	九州地区浄化槽検査員研修会	熊本市	KKRホテル熊本
11月14日	(公社) 徳島県環境技術センター来訪	篠栗町	協会役員室
11月15日	指定採水員指定講習会 (更新)	篠栗町	クリエイト篠栗
11月19日	第 5 回 スクリーニング検査詳細調査検討委員会	篠栗町	協会役員室
11月25日	浄化槽設備士講習 ～ 29 日迄	福岡市博多区	福岡県自治会館
〃	土日対応 BOD 測定装置設置 ～ 29 日迄	久留米市	筑後検査センター
11月26日	市町村浄化槽担当者説明会	福岡市博多区	福岡県庁
11月28日	国際環境人材育成研修 (アセアニーインドコース)	飯塚市	
〃	第 6 回業務管理システム構築 PJ 会議	篠栗町	協会役員室
12月10日	(公財) 日本環境整備教育センター来訪	篠栗町	協会役員室
12月11日	常任理事会	篠栗町	協会役員室
12月18日	水質検査課WG会議	久留米市	筑後検査センター
12月19日	第 3 回水質検査課長・計量管理者会議	篠栗町	協会役員室
12月24日	第 6 回 スクリーニング検査詳細調査検討委員会	久留米市	筑後検査センター
12月24日	土日対応 BOD 測定装置移設 ～ 26 日迄	篠栗町	福岡検査センター
12月25日	第 3 回法定検査課課長会議	篠栗町	協会役員室

表彰

「浄化槽の日」における表彰受賞者

10月1日(火)に東京會館(東京都千代田区)で開催された第27回全国浄化槽大会において、当協会の中嶋浩二評議員と、西口周治理事が環境大臣表彰を受賞され、山本直隆事務局長が国土交通省住宅局長表彰を受賞しました。

心からお慶び申し上げますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

また、浄化槽大会の標語募集では、飯塚市立楽市小学校2年生の井上涼哉君が最優秀賞を受賞しました。

(五十音順)

環境大臣表彰



中嶋 浩二 氏
(有)添田環境サービス



西口 周治 氏
(有)西口住宅設備

国土交通省住宅局長表彰



山本 直隆
事務局長

全国浄化槽大会標語最優秀賞

「浄化槽で 町をいきいき きらきと」



井上 涼哉 君
飯塚市立楽市小学校2年生

表彰

計量関係功労者表彰

計量強調月間事業の一環として、11月8日(金)に行われた計量記念日式典において、計量功労者等の表彰が行われ、当協会筑後検査センター水質検査課湯田修副課長が一般社団法人福岡県環境計量証明事業協会会長表彰を受賞しました。

一般社団法人福岡県環境計量証明事業協会会長表彰



湯田 修
筑後検査センター水質検査課副課長

情報

試験・講習

平成25年度浄化槽関係試験・講習日程表

浄化槽管理士講習の日程は、以下のとおりとなっております。

講習名	料 金	実施期間	受付期間	会 場	申請書販売料金
浄化槽管理士 講習	129,700円 ※1	平成26年2月17日(月) ～3月1日(土)	平成26年1月9日(木) ～17日(金)	南近代ビル 福岡市博多区博多駅南 4-2-10 TEL:(092)431-4343	申請書代金1部 300円 現金書留及び 郵便小為替にて (申請書+送料) 1部: 440円 2部: 800円 3部: 1,140円

※1 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、120,200円

■ 申請書の申し込み先

申請書送付先 (お問い合わせ先)	一般財団法人 福岡県浄化槽協会 〒811-2412 福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2 TEL(092)947-1800 FAX(092)947-3636
---------------------	---

情報/試験・講習

平成26年度浄化槽関係試験・講習日程表(予定)

次年度の試験・講習会は、以下の日程で実施される予定です。
今後、変更になる可能性がありますので、ご注意ください。

試験・講習名	料 金	実施期間	会 場
浄化槽設備士 国家試験	22,500円	7月6日(日)	九州ビル 福岡市博多区博多駅南 1-8-31 TEL:092-461-1112
浄化槽管理士 国家試験	20,200円	10月26日(日)	南近代ビル 福岡市博多区博多駅南 4-2-10 TEL:(092)431-4343
浄化槽管理士 講習	129,700円 ※1	6月9日(月) ～6月21日(土)	チクモクビル 福岡市中央区天神 3-10-27 TEL:(092)715-3250
		9月1日(月) ～9月13日(土)	
		平成27年2月23日(月) ～3月7日(土)	
浄化槽設備士 講習	86,700円 ※2	11月10日(月) ～11月14日(金)	福岡県自治会館 福岡市博多区千代 4-1-27 TEL:(092)651-1121
浄化槽技術管理者 講習	49,000円	平成27年1月28日(水) ～1月30日(金)	福岡県生活衛生食品会館 福岡市博多区千代 1-2-4 TEL:(092)651-5553

※1 浄化槽設備士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、120,200円

※2 浄化槽管理士資格をお持ちの方で受講一部免除を選択する方は、81,700円

2 未受検浄化槽基数（受検勧奨事業実施前 平成25年2月現在）

保健福祉環境事務所名 (HHE)	未受検基数 (基)	下水道普及率 (%)	市町村別未受検基数 (基)					
筑紫	2,091	90.2	筑紫野市 580 春日市 188 大野城市 103 太宰府市 199 糸島市 714 那珂川町 307				香春町 244 添田町 602 糸田町 285 川崎町 381 大任町 392 赤村 67 福智町 429	
宗像・遠賀	5,045	81.3	中間市 267 宗像市 221 福津市 1,490 宇美町 437 篠栗町 201 志免町 285 須恵町 428 新宮町 452 古賀市 419 久山町 75 粕屋町 198 芦屋町 3 水巻町 207 岡垣町 114 遠賀町 248	北筑後	3,863	68.3	小郡市 798 うきは市 1,106 朝倉市 1,278 筑前町 461 東峰村 37 大刀洗町 183	
嘉穂・鞍手	7,986	13.7	直方市 779 飯塚市 929 田川市 2,133 宮若市 332 嘉麻市 1,075 小竹町 85 鞍手町 110 桂川町 143	南筑後	14,290	16.0	柳川市 4,559 八女市 1,889 筑後市 3,154 大川市 3,283 みやま市 285 大木町 402 広川町 718	
				京築	4,490	23.1	行橋市 2,407 豊前市 238 苅田町 1,283 みやこ町 248 吉富町 90 上毛町 60 築上町 164	
				合計			37,765	

※1 平成23年度以降に11条検査未受検の浄化槽
 ※2 未受検浄化槽基数は事前精査前のものです
 ※3 福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市を除く

3 今後のスケジュール

保健福祉環境事務所名(HHE)	実施時期
宗像・遠賀	現在実施中
嘉穂・鞍手	平成26年度実施検討中
北筑後	平成26年度実施検討中
南筑後	平成26年度実施検討中

その他

行政職員による法定検査の立会

例年実施しています各保健福祉環境事務所の浄化槽担当者による法定検査の現地立会を11月21日～11月29日に行いました。

この立会は、今年で8年目となり、毎年1回、各保健福祉環境事務所の管轄区域において、法定検査の実施方法等について、当協会の検査員が説明する形式で実施しており、行政職員の方と協会職員の良い情報交換の機会となっています。



その他

浄化槽設置整備事業に係る市町村担当者説明会に参加

11月26日に福岡県庁において、福岡県主催による各市町村の浄化槽担当者を対象とした説明会が開催され、当協会も参加しました。

県からは、「浄化槽の現状」や「浄化槽整備に関する交付金及び補助金」についての説明がありました。

当協会は、「浄化槽シンポジウム」、「出前講座」、「浄化槽ポスターコンクール」などの事業報告の他、浄化槽現地研修などの技術支援について提案しました。



その他

清掃活動の実施

当協会は、環境月間である6月と浄化槽の日のある10月の毎年2回、積極的に環境の保全に関する意識を高めるために、各検査センター周辺の清掃活動を行っています。

昨年の10月に福岡、筑後、筑豊の各検査センター周辺の歩道や水路などに捨てられた空のペットボトル、空き缶やタバコの吸い殻などのゴミを拾い集めました。

今後も環境意識の啓発のために清掃活動を続けていくこととしています。



その他

浄化槽Q&A

Q

浄化槽までの排水管内の排水トラップが二重になると、どのような影響がありますか？

A

排水トラップとは、排水設備の配管途中に設けられ、浄化槽から発生する臭気の家屋内へ侵入するのを防ぐ器具のことです。また衛生害虫等の家屋内への侵入も有効に防止することができます。

二重トラップとは、排水設備工事において、屋内排水口下にトラップを設け、さらに汚水升にもトラップを設置している構造のことで、この場合、トラップ間の空気が密閉され排水が流れにくくなり対策としては、升内のトラップを取り除くかトラップ部分のエルボ管に空気穴を設けることで対処することができます。

【二重トラップの例】



(屋内) S字トラップを設置



(屋外) トラップ升を設置

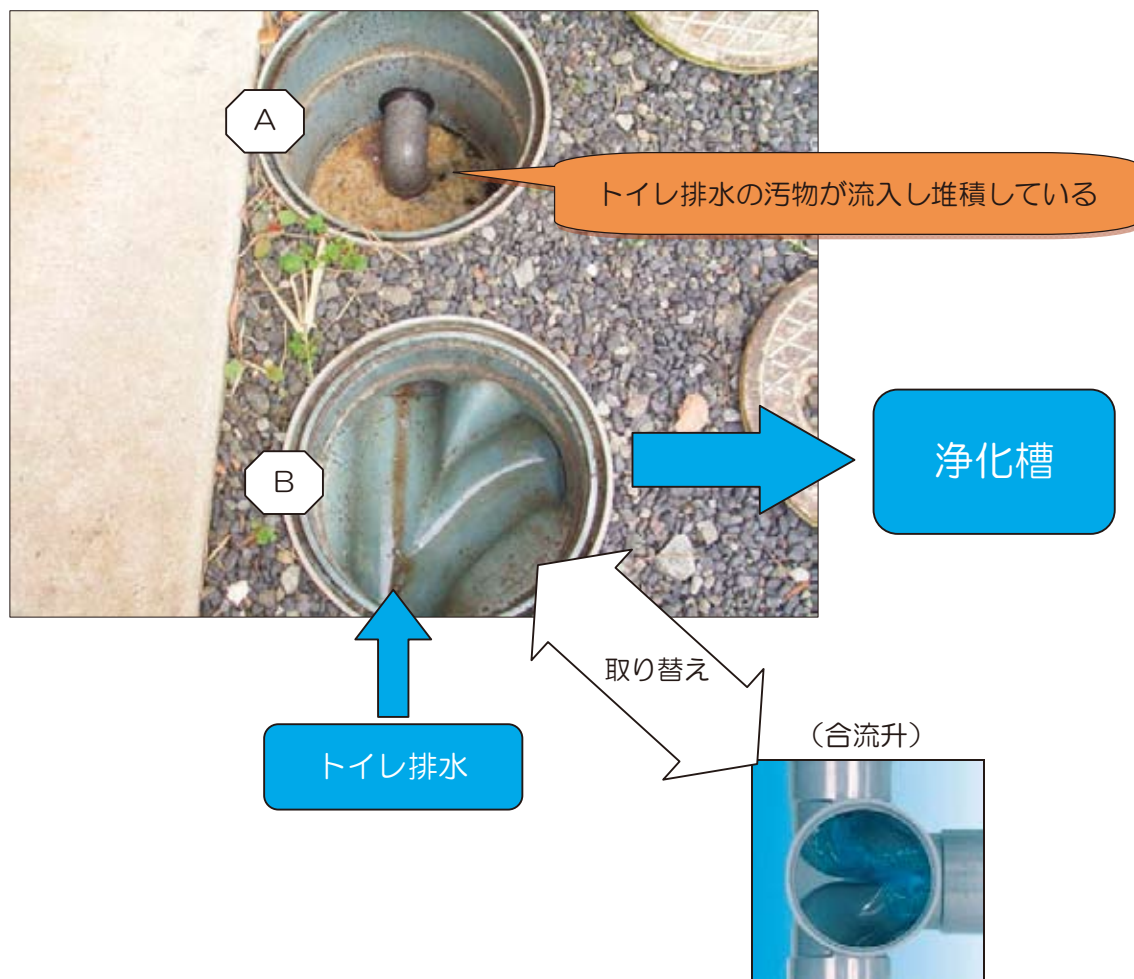
その他

法定検査の指摘事例

浄化槽法第7条検査において「不適正」と判定した事例を紹介します。

状況

以下の写真のように、トイレ排水が、雑排水升へ流入し、汚物が堆積していました。



指摘理由

トイレ排水の汚物が、一部雑排水升内に堆積し、浄化槽に流入できないため、判定は「不適正」となります。

また、堆積した汚物から、臭気や衛生害虫等の発生の恐れがあり、衛生上支障があります。

改善方法

写真Bの流入升の形状が原因で、トイレ排水の一部が雑排水升へ流入しているため、写真Bの升を合流升(写真)へ変更する必要があります。

その他

水質検査項目の紹介(No8) 全りん(T-P)

全りんとは、水中に溶解している無機態りんと有機態りんの総量です。

りんは、地中に広く存在する元素であり自然水中にも含まれていますが、水中のりんが増加するのは、工場排水や、農業排水、生活排水等の流入による場合が多いとされます。

また、水中のりんや窒素などの栄養塩が多くなりすぎると、藻類や植物プランクトンの異常発生などの富栄養化現象を引き起こし、環境に大きな影響を与えます。このため、りんは、水の富栄養化の程度を表す指標の一つとされています。

全りんの排水基準は、環境大臣が定めた湖沼、海域に流入する公共用水域に排出される排出水に限って適用されています。排水基準は、一日当たりの平均的な排出水の量が50m³以上ある工場又は事業所に適用され、許容限度16mg/L(日間平均8mg/L)と定められ、水質汚濁防止法により、瀬戸内海、博多湾、有明海、唐津湾及びこれに流入する河川に排出水を排出する事業場は、年1回以上の測定が義務付けられています。なお、測定結果の保存期間は3年間となっています。

測定方法は、試料に酸化剤としてペルオキシニ硫酸カリウムを加え、耐熱・耐圧のガラス容器中で加熱分解(120℃、30分間)し、試料中の有機りん化合物及び懸濁状のりん化合物などを分解してりん酸イオンとし、分光光度計により測定し、濃度換算して全りんとします。



耐熱・耐圧のガラス容器



りん酸イオンの発色



分光光度計

事業報告

普及啓発

検査事業

講習会等

表彰

情報

試験・講習

その他



さか せ 逆瀬ゴットン館と逆瀬谷薬師堂 さか せ たに

今回は、八女郡広川町にあります「逆瀬ゴットン館」と「逆瀬谷薬師堂」を紹介します。

さか せ 「逆瀬ゴットン館」

県内一の大きさを、直径7mの水車がゆっくりのんびり「ゴットン、ゴットン」と音を立てながら回転しています。水車動力を使った搗白(つきうす)4基、挽白(ひきうす)1基が稼働し、5時間かけて地元でとれたお米を精米しています。



さか せ たに 「逆瀬谷薬師堂」

境内に湧き出ている水は、約260年前から人々の病を治す「逆瀬谷薬師堂の霊水」として知られています。薬水(くすりみず)として、皮膚病に効果があるといわれ、福岡県「水の百選」にも選ばれています。

また、遠方から今も霊水を求めて多くの方が足を運ばれています。



編 集 後 記

新年、明けましておめでとうございます。

当協会の「かいほう」は昭和52年7月に第1号を発行し、今回の発行で130号となります。

今年も「かいほう」では、事業報告や情報提供等を行って参りますので、今後もしよろしくお願い致します。

2014
新年号
No.130

かいほう



発行年月日：平成26年1月1日

発行所：一般財団法人 福岡県浄化槽協会

〒811-2412

福岡県糟屋郡篠栗町大字乙犬966-2

TEL.(092)947-1800

FAX.(092)947-3636

発行人：三浦 正吏

ホームページ：http://www.fjkyo.or.jp



この印刷物は環境保護の為、再生紙を使用し、植物油インキによって印刷しました。